

## 実践記録（小5・総合的な学習の時間）

### 1 ねらい

インターネットから得た情報と書籍の情報を比較することで、情報の信ぴょう性を高め、新たな視点で情報を見つめ直すことができる。

### 2 手立て

- 「情報マーカーシート」の活用（資料1）

「情報マーカーシート」を作成して活用することで、情報を収集・整理することに重点を置いた。出典や著者が明らかになった情報をマーカーで色分けすることで、根拠のない情報でないことを確認できるようにする。

- インターネットから得た情報と書籍の情報の比較

鶴舞中央図書館と連携し、感染症に関連する書籍を借用した。書籍からも情報を収集することができるようにした。

インターネットから得た情報と書籍の情報を比較することで、インターネットから得た情報の信ぴょう性を高め、新たな視点で情報を見つめ直すことができるようにする。

### 3 実践の様子

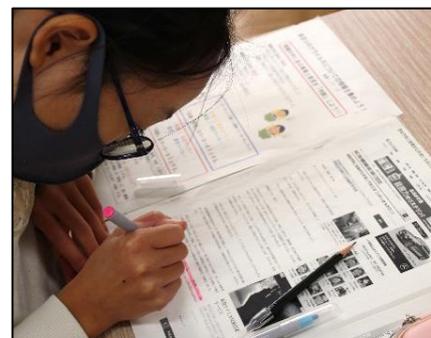
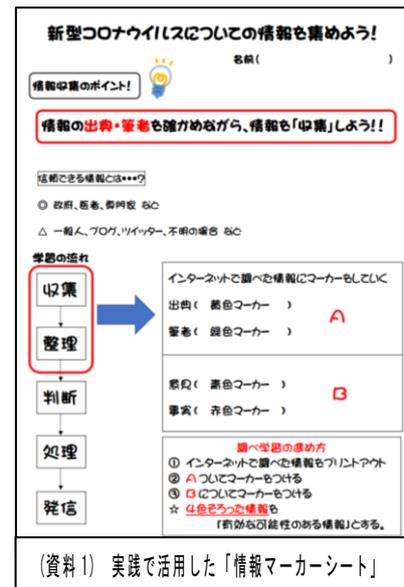
学校に導入された1人1台端末を活用し、情報の収集・整理に重点を置いた実践を行った。情報の「信ぴょう性」を重視するために、「情報マーカーシート」を作成して活用することで、情報を収集・整理することを重視した情報活用能力の高まりを目指した。

実践では、「情報マーカーシート」を活用することで、インターネットからの情報を収集する際、本当に正しい情報かを整理しながら学習を進めることができた（資料2）。児童は、出典や著者が載っているサイトがすぐに見付からないことに驚きながら、学習を進めていた。

また、手立て2である、インターネットから得た情報と書籍の情報の比較も行った。鶴舞中央図書館と連携することで、新型コロナウイルスや、感染症に関わる書籍を借用し、インターネットに掲載されている情報と比較した（資料3）。インターネットにも書籍にもある情報を見付けることができた児童もいれば、インターネットと書籍で書かれている内容に違いがあり、二つの情報から考えた、自分の考えをまとめとして載せる児童の姿も見られた。

### 4 成果と課題

- 「情報マーカーシート」を活用し、インターネットから得た情報と書籍の情報を比較することで、情報の信ぴょう性を高め、新たな視点で情報を見つめ直すことができた。
- 調べている内容を児童が理解しきれていなかったり、本来調べるべき内容とずれが生じたりした。自分の課題解決に役立つ情報は何かを判断することについて課題が残った。



(資料2) 「情報マーカーシート」を使って  
情報を収集・整理する児童



(資料3) インターネットで調べた情報と  
書籍の情報を比較する児童